

会 報
No. 131 号
平成 28 年(2016 年)
1 月 1 日発行
発行人 沢田和夫

シルバーだより

公益社団法人 立川市シルバー人材センター

会員数(平成 27 年 12 月 17 日現在)
1,740 名(男 1,264 名 女 476 名)
本部事務局 柴崎町 1-17-7
☎042-527-2204
錦支部 錦町 6-15-20
☎042-528-8041
砂川分室 砂川町 1-52-17
☎042-534-3222



年頭のご挨拶

会 長 沢 田 和 夫

新春を寿ぎ、会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当シルバー人材センターは、公益社団法人に移行してのち、厳しい実績状況に直面しながらも、会員・役員・職員一丸となった事業や活動への取り組みにより、これを乗り越え、今年度上半期の実績は前年同期に比べ約 4000 万円増となりました。

一方、会員数は依然として前年度よりも減少しており、事業の開拓や地域貢献活動などの推進のための会員増強が、引き続き重要かつ喫緊の課題となっております。今年度は、新たに「女性会員増強プロジェクト」を立ち上げ、家事援助サービスや清掃作業などの事業拡大に対応するための女性会員の増強に力を入れるとともに、10 月を「普及啓発活動月間」とし、会員の皆様にも地域班や職群班を通じて広報活動に協力していただきました。11 月に開催しました女性

対象人会説明会には、市内 6 会場で 100 名を超える女性の出席をいただき、当日の入会登録申込が 25 名と一定の成果もあっております。今後、入会案内パンフレットの市内全戸配布など普及啓発活動を積極的に推進し、中期事業計画の会員数目標である 2000 名達成を目指してまいります。

また、今年度は、「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」開始 10 年の記念事業を計画し、活動開始 10 年の節目の年に、長らく参加協力いただいている会員の皆様に少しでも感謝の気持ちを伝えられる事業としていきたいと考えております。

最後に、本年も、会員の皆様には引き続き公益社団法人の地域貢献活動である「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」への積極的な参加協力、また今後のさまざまな事業の展開・推進に対し、変わらぬご理解ご協力をお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸を併せ祈念して年頭の挨拶いたします。



新年を迎えて

立 川 市 長 清 水 庄 平

新年明けましておめでとうございます。シルバー人材センターの会員の皆様には、爽やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より市政に多大なご支援、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

昭和五十三年の創立以来、貴センターの登録会員数も千七百人に追いつく勢いで増加し、受注件数も毎年順調に伸びております。これは会員皆様の長年にわたり培われた経験を精一杯活かそうという熱意と努力の現れであるとともに、さらなる会員の皆様の活躍の場が広がるよう事務局の熱心な就業機会の開拓によるものと、大変嬉しく思っております。

さて、日本は世界でも類を見ない速さで少子化、高齢化が進行しており、本市においても例外ではありません。このような社会の変化に的確に対応していくためには、まちの将来を皆様とともにつくっていくことが肝要であり、行政のみならず皆様の英知をお借りする

ことが重要です。

一方で、本市の将来像「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」の実現に向け、人と人とのふれあいや絆を大切に、豊かさと笑顔に満ちたまちづくりも目指しています。会員の皆様には、小学校児童下校時通学路安全見守りや地域清掃など地域への貢献活動により、子どもたちの安全や街の美化を守っていただいております。感謝に堪えません。街中で会員の皆様と児童や地域の皆様笑顔で会話を楽しんでいる様子を私もよく目にしておりますが、地域での絆を大事にいただいている皆様のご活躍を心強く思っている次第です。

生きがいを持つことは、人生における喜びであり、貴センターの活動もそのひとつとなることを願ってやみません。本年も会員皆様のご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝と、なお一層ご活躍されることを祈念し私の新年の挨拶いたします。

今年度の会員増強活動の報告

中期事業計画の会員数目標の達成に向け、今年度はさまざまな会員増強の取り組みを進めており、12月までに実施しました活動について報告します。

＜女性会員増強プロジェクトの活動＞

理事 7 名・会員 4 名で構成され、会員数の増のため入会率の低い女性の登録を増やしていくことを目指し、女性会員活躍周知パンフレットの作製及び市内全戸配布、女性対象入会希望者説明会の開催を計画し実施しました。

今回のプロジェクトの特長は、女性会員が活躍する職群班 4 班から女性会員にメンバーに加わっていたこと、活発な意見・提案をしていただき、活動内容がより一層充実したと感じています。

＜女性対象入会説明会＞

前号でもご案内しましたが、市内 6 会場で開催しました。開催の周知は、市内全戸に配布した「女性会員活躍周知パンフレット」で行いました。入会説明会や入会登録申込を市内複数の会場で行うことは初めての

試みであり、どのくらい出席者・登録申込者があるか不安もありましたが、別表にも記載しておりますとおり、全日程で 101 名の出席をいただきました。また、各会場での当日入会登録申込が 25 名、12 月 10 日・11 日の受付日での入会登録申込が 12 名で合計 37 名の入会登録申込をいただき、予想以上の成果がありました。

説明会では、事務局の説明の後、女性会員増強プロジェクトのメンバーである会員からセンターに登録したきっかけや仕事の内容など経験談も交えて話していただき、従来の説明会以上に内容の濃いものになったと感じています。

＜地区別入会案内＞

市広報への掲載と市内掲示板へのポスター掲出でお知らせしましたが、市内 5 会場で開催しました。通常の入会希望者説明会と兼ねての本部事務所以外は、当日の入会登録申込を受け付けない説明のみの開催としましたが、本部事務所開催も含めて出席者 32 名という結果で、全体で通常の入会希望者説明会の出席者数と同程度でありました。この出席者の中から 12 月に入会登録申込をした方は 10 名でした。

＜今後に向けて＞

センターでは、前号にも掲載しましたが、新たな家事支援など家事援助サービス事業の拡大に向けた取り組みを進めています。そのなかでは、特に女性会員の確保が重要な課題となっております。今後女性対象入会説明会やパンフレット等の配布などを通じ、地域の女性に、シルバー人材センターで活躍していただくよう呼びかけを続けていきたいと考えております。



女性対象入会希望者説明会 開催結果一覧表

開催日	開催時間	開催場所	申込人数	出席人数	入会登録申込者数	備考
11月25日	13:30~15:45	西砂学習館	15	15	3	
11月26日	13:30~16:30	幸 学習館	22	21	7	当日直接出席者 3 名含む
11月27日	9:30~11:30	本部事務所	15	15	3	当日直接出席者 1 名含む
11月27日	13:30~15:30	錦 学習館	11	10	5	
11月30日	9:30~12:00	砂川学習館	13	15	8	当日直接出席者 4 名含む
11月30日	13:30~16:30	女性総合センター・アイム	25	25	11	当日直接出席者 4 名含むほか 会員 1 名及び東京しごと財団職員 1 名出席
参加者数合計			101	101	37	入会者の割合約 36% そのほか、登録に必要な書類を持ち帰った出席者は全会場 で約 20 名

今年は、リオ五輪。日本人選手の活躍に期待しましょう！

今年度の職種・職場の異動方針について

就業決定会議議長 山口 順 司

就業決定会議では、今年度末に実施する職種・職場の異動につきまして、「就業基準平成 27 年度運用方針」を策定、理事会に提案し、議決いただきましたので、その概要を会員の皆様にお知らせします。

【基本的な考え方】

毎年度末の職種・職場の異動の基本的な考え方であり「職種・職場の異動は就業開始年度から 5 年」、「再異動は異動後 5 年」に変更はありません。また、年齢ガイドライン到達後 2 年以上を継続して就業している会員や、業務内容や日数・時間数等が軽少のため、就業年齢のガイドラインの定めに関わりなく就業していることが認められている高齢会員(原則として 75 歳以上)についての方針にも変更はなく、運用方針に定める年齢等に到達している会員は、年度末をもって就業を終了していただくこととなります。

【今年度の変更点】

昨年度までは、年度末に「就業年齢ガイドライン」到達までに 1 年と

なる会員は現在の職種・職場で継続することにしていますが、今年度からは「到達までに 2 年となる会員」も現在の職種・職場で継続することとしたしました。この変更の目的は、年齢ガイドラインに近い年齢での職種・職場の異動は、会員本人と職群班双方に業務への適応などの面で負担が大きいことを考慮したものです。

この変更により、例えば、75 歳の年齢ガイドラインが設定されている管理業務では、今年度の異動対象会員のうち平成 28 年 3 月 31 日現在で 73 歳の方は、現在の職種・職場で年齢ガイドライン到達まで継続して就業できるようになりました。

【今年度の異動対象の皆様へ・職群班の皆様へ】

就業決定会議では、今後、意向調査などを参考に異動を決定していきますが、年度末で就業を終了したい方の意思は尊重するとともに、異動対象であっても就業の継続が困難であると判定した会員については年度末をもって終了していただきます。異動対象の会員や年齢ガイドラインに到達する会員がいる職場では、就業マニュアルなど異動・新規の就業会員の教育指導に必要な資料等をよく確認しておいていただきます

ようお願いいたします。今年度の就業職種・職場の異動に対し、該当会員皆様並びに職群班班長をはじめとした会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

見守り活動開始 10 年記念事業の紹介

総務部会では、今年度、「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」が市立小学校全 20 校で開始されてから 10 年を迎えたことを記念し、永年にわたり積極的に活動に参加協力していただいている会員、活動を支えてくださっている班長の皆様に感謝の気持ちを伝えるべく、記念事業を検討してまいりました。このたび、記念事業の内容が決定しましたので、皆様にご紹介いたします。

〈永年功労者表彰〉

各小学校での活動開始時からの参加協力会員を中心に、その貢献に対し感謝状を贈呈します。また、表彰式では懇親会も開催する予定です。

〈記念グッズの配布〉

地域班班長の皆様にもアイデアをだしていただきながら、「できれば活動にも活用できるものを」と検討

した結果、レインウェアを参加協力会員全員に配付することにしました。配付対象者は 12 月までに活動に参加している会員となります。



レインウェア見本

〈記念式典〉

永年功労者表彰対象会員や地域班班長、関係機関からご出席をいただき、表彰式と懇親会を開催する予定です。開催時期は 3 月頃を予定しています。

〈記念誌の作製〉

会員の皆様と各小学校、関係機関のご協力をいただき、活動風景の写真や会員及び各小学校からの寄稿等を掲載する予定です。現在、約 50 ページの予定で作製に取り組んでおり、記念誌が、全登録会員に活動をより一層理解していただくきっかけになればと考えています。

フアーマーズクラブが今年も
保育園児と芋掘り会開催

11 月 4

日、フアー
マーズクラ
ブが森の子
保育園園児
を迎えて、
今年も芋掘
り会を開催
しました。



今春に園児
たちが苗植えをしたさつまいもが立
派に育ち、約 60 名の園児が参加、
畑に一列に並んで先生の掛け声でス
タート、会員が手伝いながら次々と
大物が土の中から掘り出され、持ち
上げて見せる園児たちの誇らしげな
姿に、会員にも自然と笑みが広がる
ひとときでした。



新春を詠む



渦を巻く交響曲やシクラメン

シルバールの旗振る路線 寒椿

支え合ふ腕と心や鏡餅

富士見町 大森恒治

〔シルバー俳句わかば〕の皆さん

今年また富士が導く初詣

若葉町 松尾憲治

初春や手帳に書き込む

多事多彩

若葉町 馬場和徳

初孫の生まるる年の初日かな

若葉町 山本幹夫

新年といふ老境へ又一步

若葉町 伊藤弘子

梵鐘の余韻ともども去年今年

柏町 伊藤郁郎

お知らせコーナー

総合相談窓口からのお知らせ

総合相談窓口では、会員の皆様か
らの就業などいろいろな相談に応じ
る「総合相談日」を毎月 1 回開設し
ています。日程は左記のとおりです。
相談希望の方は、事前にご予約くだ
さい。なお、3 月には、砂川分室で
も開催しています。

記

2 月 17 日、3 月 2 日、4 月 13 日
いずれも水曜日、午前 9 時 30 分
から午前 11 時 30 分まで。相談時間
は 30 分。

相談申込先

本部事務局総務係 527-2204

配分金振込日の予定

これからの配分金の振込日は左記
のとおりです。

1 月分	2 月 19 日(金)
2 月分	3 月 18 日(金)
3 月分	4 月 20 日(水)

会費納入のお願い

センター及び会員互助会会費は、
就業・未就業に関わらず年度ごとに
納めていただくことになっておりま

す。また、当年度の会費は規程によ
り毎年度 3 月末日までに納入するこ
ととなっております。27 年度のセ
ンター及び会員互助会会費を本部
事務局及び砂川分室にて受け付けて
おります。よろしく願います。

編集 後記

あけましておめでとうございま
す。

会員の皆様には、ご家族皆様と
良い年を迎えられたこととお慶び
申し上げます。今年の会報の編集
に携わっておりますも、センター
の重要な取り組みは会員の増強で
あると伝わってきます。就業や活
動に参加しているわたしたちひと
りひとりも、センターの「広告塔」
であるのだと思います。これから
「地域で働きたい、活動したい」
という方へシルバー人材センター
の事業を引き継いでいくため、わ
たしたちの「1 年の計」に「セン
ターへの協力」を入れてみません
か。

今年も会報編集委員会へのご支
援ご協力をよろしく願います。

(石川由紀子)

巻頭写真提供 竹下峯弘会員